

# 平和で希望にあふれた年に期待して

鳥羽市長 木田久圭一



新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさまにとりまして、幸せな平成23年の船出となりますよう切望いたします。

昨年は、尖閣諸島の問題に端を発した中国との領土関係に揺れ、さらに北朝鮮と韓国との砲撃戦に危機を感じた一年でありました。本年こそ、政治的・経済的に安定し、国民が満足のいく年となりますよう期待をしているところでございます。

さて、鳥羽市が力を入れております子育て支援につきましては、一昨年は中学三年生までの医療費の無料化、昨年は第二弾といたしまして保育料の二人目以降の無料化を実施してまいりましたが、併せて高齢者対策についても、しっかり考えていきたいと思っております。

また本年3月の鳥羽マリントーナメントの完成を受けて「佐田浜地区の新たなまちづくり事業」を実施すると共に、森を再生させるため、「森は海の恋人事業」を推進したいと考えております。

この事業により、森の環境を改善しながら、農林業の振興と雇用の確保、さらに災害防止を図ります。一方で河川の水量や養分を増加させることで、海の環境改善と水産業の振興に結びつけることを目的としています。

昨年は年末にかけて、地区懇談会で各地へ出掛け、多くの市民のみなさまよりご意見やご提案をいただきました。これらのご意見を真摯に受け止めて、市政に反映し、市民のみなさまの幸せに直結する政治を目指して参りたいと思っております。

新年が鳥羽市民にとって、平和で希望にあふれた一年となりますようご祈念し、年頭のごあいさつといたします。

# 謹賀新年

# 誕生「議会基本条例」

鳥羽市議会議長 坂倉 紀 男



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は議会運営につきまして、深いご理解と格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、わたしども鳥羽市議会も、わが国経済の長く苦しい「平成不況」の中で、厳しい新年を迎えました。

鳥羽市におきましても、税収の減少に加え、なお依然として多額の市債に依存している現況にあり、決して、楽観視できるものではありません。

このような中において、市民生活の安定を図り、さらに、今後確実に到来する高齢化社会に対応するためには、より以上の財政健全化を図ることが緊急の課題となっております。

市政に携わる議会議員といたしましては、その責務の重大さを十分に認識し、従来にもまして公平、公正で透明性の高い議会活動の実現を確保する基本理念の実現に向けて最善の努力を積み重ねてまいりました結果が、鳥羽市議会の最高規範である「議会基本条例」として結実し、本年四月一日施行の予定になっております。このことは、行政の首長である市長と議会議員との関係を二元代表制として位置付け、議会議員自らの言動を厳しく律し、市民との関係、行政との関係をくわしく規定しております。

しかしながら、これらのことはわたしども議会のみで成し得るものではなく、市民各位のご理解とご協力がぜひとも必要であります。

どうか本年も、市民のみならず方におかれましては、鳥羽市議会に対してより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。